

学校だより 三和中シュワッチ!

三和中学校183

校長 宮里直哉

熱中 夢中 笑顔で集中の三和中生



税理士 西里恵里紗さんによる授業がありました

6月14日(水)三年生を対象に税についての授業がありました。3、4校時に1,2組それぞれのクラスでプレゼンテーションソフトを使いながら、税金の使い道等をわかりやすく説明していただきました。中学生も何かを購入する際には消費税を払っており、将来アルバイトを含め仕事をするとな税金を払うことになっています。社会のしくみや節税を考える上でも貴重な時間になったのではないのでしょうか。

6月14日(水)三年生を対象に税についての授業がありました。3、4校時に1,2組それぞれのクラスでプレゼンテーションソフトを使いながら、税金の使い道等をわかりやすく説明していただきました。中学生も何かを購入する際には消費税を払っており、将来アルバイトを含め仕事をするとな税金を払うことになっています。社会のしくみや節税を考える上でも貴重な時間になったのではないのでしょうか。



2年生6名、第4回島尻地区英語スキットコンテストで優良賞受賞!

6月13日(火)与那原町上の森かなちホールにて行われたコンテストに、本校代表としてAさん、Bさん、Cさん、Dさんの4名が発表、補助員として、Eさん、Fさんが参加しました。各校のレベルの高さに驚きながらも落ち着いて発表することができたそうです。大変貴重な経験をしたみなさんは、とても良い表情をしていました。

7月の主な行事

日	曜日	行事内容
6	木	読み聞かせ
7	金	生徒会各種委員会③ 服のカプロジェクト(6校時) *3小学校からも参加
11	火	全体朝会(表彰)
14	金	みそあじ運動②
16	日	家庭の日・ファミリー読書
17	月	海の日(公休日)
19	水	学期末大清掃(ジャージ登校)
20	木	1学期終業式
22	土	県中学校総合体育大会 ~26日
24	月	三者面談 サマースクール ~27日
27	木	学校保健安全委員会

快挙!!第22回「全国こども陶芸展inかさま」 1年Gさん、内閣総理大臣賞受賞!



6月22日(木)全国の小中学生が制作した独創的な陶芸作品が集まる中、全部門の最高賞にあたる内閣総理大臣賞をGさんが受賞しました。審査員長の金子賢治茨城県陶芸美術館長は「新里さんは去年の作品に比べ表現が進化している。内閣総理大臣賞にふさわしい良い選択ができた」と講評しています(6月22日茨城新聞クロスアイより抜粋、写真は新聞社の取材を受けている様子)

作品に取り組む様子や苦勞を語るGさんに芯の強さを感じ、また創作への真摯な姿勢に感銘を受けました。“自分らしさ、自分の良さ”を見つけ自己実現に向かい努力する、そうした活動が認められたこと、素晴らしい成果をあげたことに、連絡を受けたみんなが嬉しくなりました。おめでとう!

第33回「児童・生徒の平和メッセージ」1年Hさん、3年Iさん佳作受賞!

作文部門でHさんの作品「過ちをただすために」、詩部門でIさんの作品「歩く」が佳作を受賞しました。どちらの部門も受賞者は20名という狭き門でした。二人とも素晴らしい作品で、Iさんの詩は、学校でも掲示されています(今号裏面にも掲載)

掲示物紹介



裏面に
続く





さしぐさの会の読み聞かせが始まっています

四月から「さしぐさの会」(代表:渡久地くにさん)による読み聞かせが始まっています。読み手が聞き手に伝わるように工夫して話していること、色々な本に触れる機会が得られること、地域の方々の温かさが直に感じられること。二十年以上にわたるボランティア活動は、言語活動の一環

としてだけではなく、情操面の成長のご支援をいただいております。いつもありがとうございます。

ゆいまーる教室、始まっています

一年生を対象に募集していた放課後学習会(ゆいまーる教室)が四月からスタートしています。糸満市教育委員会地域学力支援事業の一環として実施している放課後教室です。

指導してくださっているのは、三和人材育成会の新垣忠是先生で、毎週水曜日一時間、数学の学習会をしています。受講料は無料ですが、保険料が八百三十円かかります。定員は十名です(あと一名空きがあります)。興味のある方は、学校へお問い合わせください。

**第28回糸満市平和祈念祭
3年Jさん『ひめゆり』朗読**

6月17日(土)県平和祈念資料館ホールにて「平和レクイエム朗読」があり、Jさんが高校生の二人と一緒に絵本『ひめゆり』を朗読しました。平和語り部研修に中学2年生から参加しているJさん、「緊張したけど、終盤の大事な部分を任されたので色々工夫して相手に伝わるよう頑張りました」と話していました。放課後の主体的な行動が交流を広げ地域貢献にもつながっている、Jさんのたおやかな活動は誰もが応援したくなるものではないでしょうか。(活動は6月22日琉球新報にも掲載されています)

歩く 三和中学校 三年 I

私は歩いている。
深く息を吸い込んで 大好きなこの道を 体中で味わいながら。
雨の匂(にお)いが残る広場。
イソヒヨドリのおさえずりが 反響(はんきょう)する町並み。
木々を優しく撫(な)でながら 吹き抜けていく風。
露に飾られた 月桃の立派な葉。
足でアスファルトを 踏みしめる度思う。
この島の平和を。
平和の素晴らしさを。
心から溢(あふ)れ出てくる この気持ち。
感動だろうか。
喜びだろうか。
嬉しさだろうか。
いいや、ちがう。
「ありがとう」

七十八年前を生きた人々の 悲しみは計(はか)り知れない。
海は黒い軍艦(ふね)によって奪われ
森は火炎放射器の攻撃で 豊かな緑を失った。
空からは鉄の雨が降りそそぎ
いつまでたっても 止まなかった。
二十万もの命がなくなった 沖縄戦。
私が歩いたあの道で 誰かが泣いたのだろうか。
私が眺(なが)めたあの景色は 焼け野原だったのだろうか。
あの大きなリュウキュウマツも 戦争を知っている。
おじいちゃんもおばあちゃんも 戦争を知っている。
だから今の平和な 沖縄がある。
平和だからあの道を 歩くことができる
波のようにゆれるさとうきび。
畑から鳴り響くラジオ。
花のように舞う蝶。
青い空を横切る飛行機。
電線の上で唄う鳥。
スプリンクラーからのぞく虹。
赤い花をつけたデイゴの木。
森から聞こえる蝉時雨(しぐれ)。
太陽に照らされる ビニールハウス。
そんな美しい風景の中を 歩くことができる。
だから私は言う。
「ありがとう」と。
この平和な島をつくってくれて 「ありがとう」と。
素晴らしい風景を守り続けてくれて 「ありがとう」と。
私は願う。
先人たちが願った 平和な沖縄を紡(つむ)いでいくために。
戦争を忘れないために。
私たちは伝えていく。
戦争に巻き込まれる人が 増えないように。
この世界が笑顔で溢(あふ)れるように。
そんな思いを胸に秘め
私は今日も
歩いていく。

PTA作業実施、ありがとうございました

お陰様で、三スポに向けて生徒も気持ちよく活動できる環境になりました。貴重なお時間にお骨折りいただき誠にありがとうございました。

